

母が再婚した

母も私を
折檻することは
なくなった

落ち目だった
家とは違って
豪華で綺麗な家

……
まだ慣れないな、

こんな大きな
ベッド……



ん...

ん

ん

ん...

ああ、

目が覚めて
しまったか

もう少し
堪能してからと
思っただが...

な

なんで

なんで私
服...



可愛らしい
処女穴じゃないか...

おお...これが
我が「娘」の...

え...?



お前の母も
これを入れられると
善がり狂って
泣き喚くんのだ

ほれ...
立派なモノだと
思わんか?



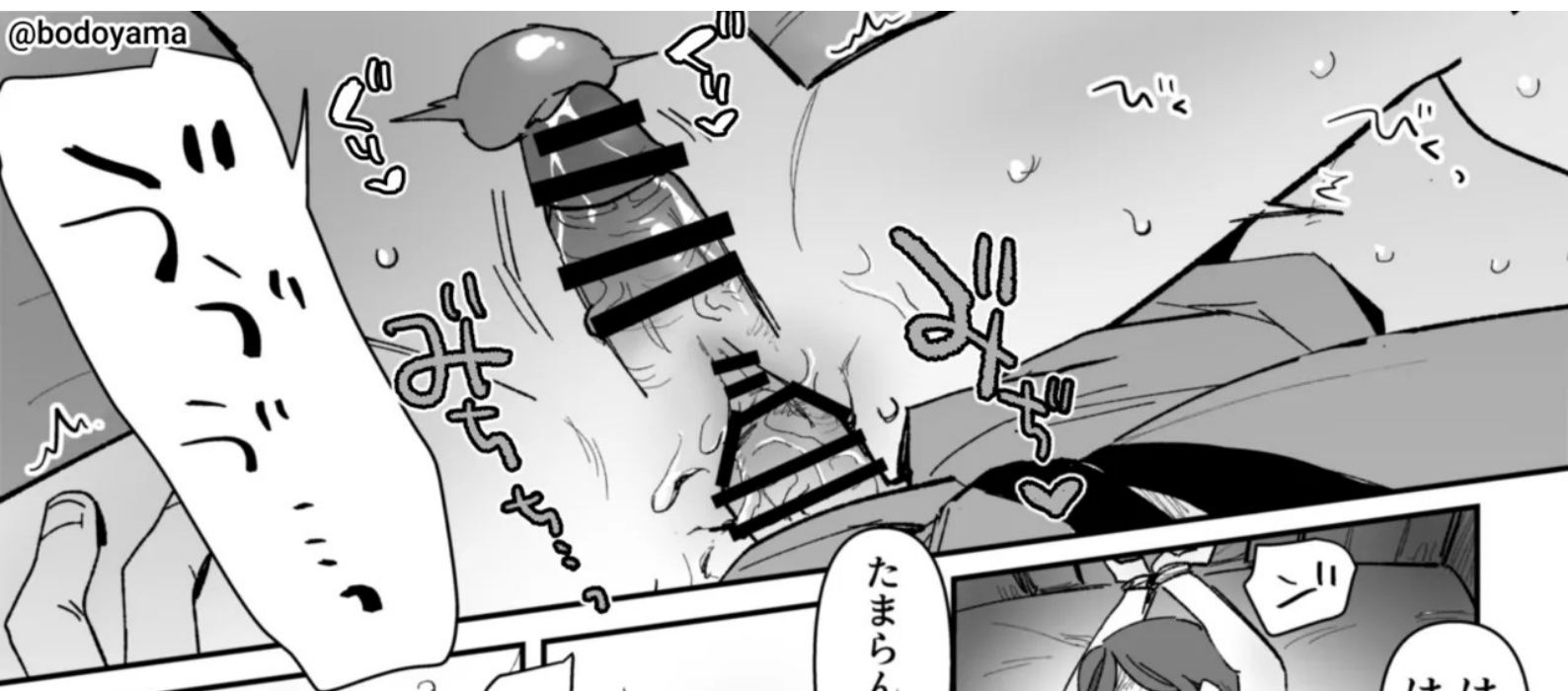
まあそう
怯えるな

.....!!

な、
なに...
お父さ...

こいつでお前を
女にして
やるからな...

やめて
やめ...



たまらんっ...



はあっ
はあっ



娘の膣を犯す
背徳感っ

止まらんっ

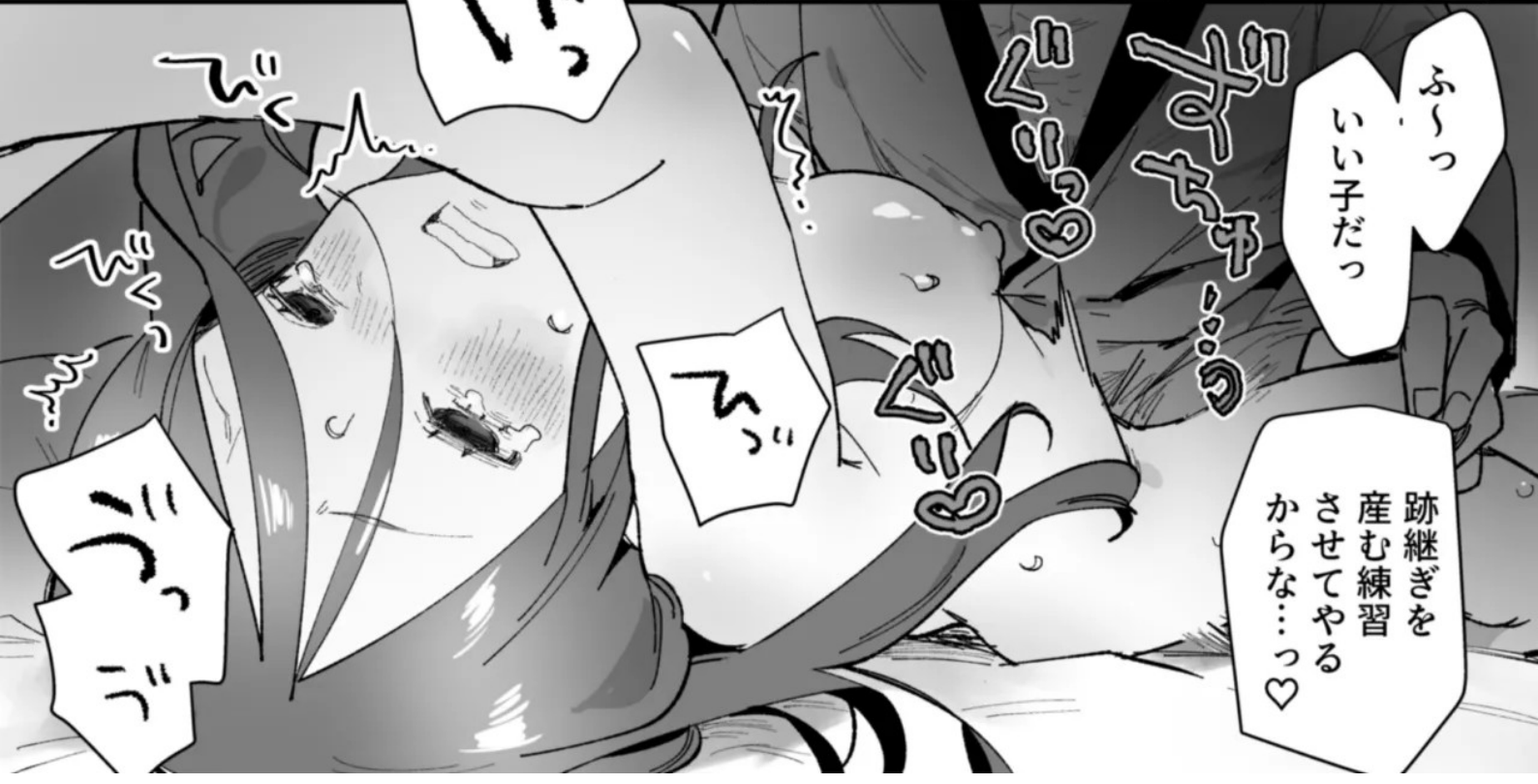
ふーっ



他の貴族にやる前に
味見して
正解だったな

父の子種を
くれてやるっ

孕めっ
孕めっ



あ...

あ...

あ...

あ...

ふんっ

ふんっ

ふんっ

いい子だっ

跡継ぎを
産む練習
させてやる
からな...っ♡